

第94回資産運用委員会 議事要旨

1. 日時：令和4年8月4日（木）10：00～11：30
2. 場所：KKRホテル東京 11F 丹頂
3. 参加者：神野委員長、小野委員、小幡委員、白須委員、玉木委員、山崎委員
4. 議事要旨

令和4年度第1四半期の運用状況及び運用リスク管理の状況について

事務局から、厚生年金保険給付積立金、退職等年金給付積立金、経過的長期給付積立金の令和4年度第1四半期の運用状況及び運用リスク管理の状況について説明があり、それぞれの積立金の管理運用の方針に則り運用が行われたこと、適切なリスク管理が行われたことが確認された。

委員からは、以下の意見等があった。

- ・一定の割合でアクティブ運用を行うことは理解できるものの、運用実績が芳しくないなど問題が発生しているのであれば、問題の原因となっている個別ファンドを例示するなどして説明いただきたい。
- ・アクティブ運用については、規模も小さいので工夫のしがいはある。
- ・良いアクティブファンドを選ぶことは非常に難しく、アクティブ運用にどの程度関わっていくかは少し問題もあるところ。現時点では、アクティブ運用の比率を上げるのではなく、むしろ下げること考えたほうが運用としては有利だろう。
- ・外国債券、外国株式の運用結果については、円ベースのほかにドルベースまたは現地通貨ベースでも確認することが有効ではないか。
- ・長期的に見て、運用目標の1.7%を大きく上回っているが、実質的な運用利回りというのは非常に長期的な概念である。過去10年ぐらい、15年ぐらいはスプレッドが多く出る時期だった、或いは、あと何十年か経てみたら逆目が出る時期があった、通して見ればよかったかどうかという結論が出る。そういうタイプの数字であることを丁寧に説明していく必要がある。

以 上